

531
31

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

始



訂校

おもろさうじ

大正十四年校訂刊行

第九—第十三



伊波普猷校訂

校訂 おもろさうし

南島談話會刊行

大正
14. 10. 2
内夾

首里天きやすへあんしおそいかなし

いろくのこねりおもろ御双紙

天啓三年 癸亥 三月七日

第九

(一) もりあいきみのふし

一 おおり、ぎみ、みものぎみ、てづて、
のちまさり、二ておき二ていねるちよむる、きよらや

又 玄よりもりまだまもりぐまぐ

又 あんじおそいぎや、たゝみきよが、おみ

又 いしへつと、かなへつと、こので

又 いしらごと、ましらごと、おりあげとアミ

又 たげたかく、さり、ひろく、おりあげて

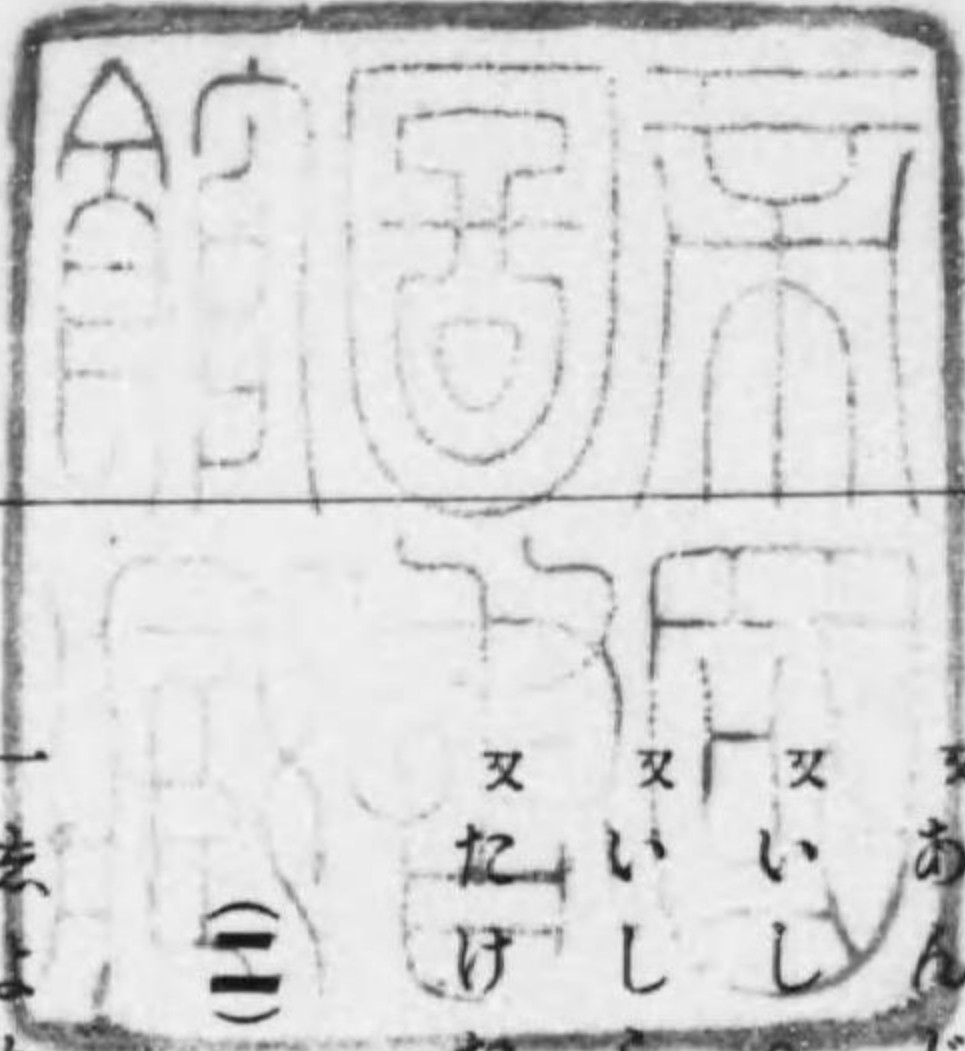
(二) きみのつちのふし

一 表よりもりぐまぐ、

だり煮よ、げらへむれ、

きよらやの、二ておき二ていねるくよてもち

又 まだまもりぐまぐ



又きこゑうらおそへど。

くよのおとぢや、なしよぢちへ

又きこゑ、なかよしよ、

かけだむきちよぢちへ

又くも、こよりあふやよ、

ま玉よりあふやよ

(三) うちいていぢやまなかふし

一せぬ、きみぎや、

きみよしぎや、

いせ、びやし、ごよで、うちあけれ

又くめのゑま、かねのしま

又かねぐまくもりぐまく

又あんじおそいぎや、

たゝみきよが

(四) 大ざごのげそおもひあんじのふし

一さまかさが、

くよもりぎや、

おしおけておかてこねておのきりこてこておのこてこねて

げらへ、みやうぶ、

ごよめむ、みもん

又大ざごのごよみもり

又さふろくが、

又まの、かた、

又りやう、やよ

又うしの、かた、

又あけせ、かた、

又あけせ、かた、

とびやう、やよ

(一)モ、人名
(二)モ、同

校訂おもしろさうし

又とべるかた、

まやうやよ

(五) おりもりやげよのきみのふし

一 きみよし、きみの、

きみおそい、きみの、

まちら、ためより

又も、その、やちよく、

な、その、やちよく

又も、そがなかよ、

な、そが、なかよ

(六)

一 も、くらの、よせなみ、

やそくらの、ともよせ、

(一)モ、村頭
妻
(二)モ、百人
こ
(三)モ、七十
人

(一)モ、有こ

又玉ぐま、あつる、
おもやいと、もちなちへ

(七)

一 くもこ玉ぐま、

おれが、みもん

又ひやくな、玉ぐま

又なさいぎや、たまぐま

(八) 未よりおやひがふし

一 ぐまくまの、あさい、よよ、

あさい、よよ、ひろみやよ、

おれなおせが、みたかみ

又またよしの、あさい、よよ

(九) おにさんこがふし

一世かせ、きみの、

おれて、あまべと、

ひやし、うちあけれど、

きみも、なよら

又おもひきみの、

おれて、あまべと

(一〇) おやみきやまがふし

一くめの、よゝせきみ、

いと、おとし、

なめし、いとよ、

さげて、おしまひせ

又せだか、よゝせきみ

(一)モ、これ
らた

(一一) たくしたうなつけがふし

一あかま、くよか、ねや、

なよひちへ、おれて

又くよのまつらいや

又きみよ、みちよろ、みやり

(一二) おまのきみこゑかふし

一きこゑ、せだかこが、

世がけ、よせさ

又とよむせだかこが

又きこゑあんどおそいや

又とよむあんどおそいや

(一三)

一大きみ、大ききみぎや、

いそここけつな、二におまこねのやちよく

又くよもりくが、いそこ

(一四) うちいてわつ、ごりかぢちへがふじ

一せぬ、きみや、

きこゑ、せぬ、きみや、

あゑけやれ

又せぬきみや、

ごよむ、せぬきみや、

あゑけやれ

又あんしおそいぎや、み御まへ、

あゑけやれ

又た、みきよが、み御まへ、

あゑけやれ

(一五) まるやせぢみおやせがふじ

一まるや、ごよむ、大ぬし、

だしま、ごよむ、ぢかぬし、

あんじおそいまよ、

せぢ、まさてちよむれ

又あからたけ、ごよむ、

まぎみ、きよら大ぬし

又くもこたけ、ごよむ、

ままはじめ、大ききみ

又あまよこの、うらやて、

けさよこの、きこゑて

又てるかたご、(二)よきやて、

御こと、あぢまゆぢちへ

又まよりもり、うち、あよで、

(一)モ、行合

まだまもり、うち、あよで
 又原ぞよやまへ、あんじおそい、
 てだがま原、目うよせ
 又くもこたけ、おりあげて、
 あおりとな、つみあげて
 又あやこなま、やひちへ、
 よきの、たけ、やひちへ
 又きもが、うちの、うまれて
 あよが、うちの、まくれて
 又あんじおそぢよ、よきやて、
 あまこ、あむちへ、そこで
 又よるや、せぢ、あらぎやめ、
 きみぎや、せぢ、あらぎやめ
 又てよぎや、また、おそて
 又よよりもり、ふさよ目

(一六)

一 まうねぐままきり二ておちへひたりおしかけておのきりく、目かいきよ、
 目かいきよ、またたりやよ、
 みやげ、ほしやの、目かいきよ
 又よいのみね、つとて、
 よいのたけ、つとて
 又おかまきやが、まうれしや、
 またいきやが、まうれしや
 又目かいきよ、いきやて、みちやる、
 又またたりやよ、みちやる

(一七)

一とひやが、まいとかなよ、いちや、こと、とひ
 とひやよ、とよで、まへちへ、とひ

又とひやが、ままなかよ、いちやれを、
とひやよ、どけて、やなでとひ

(一八)

あかま、くよかねや、
あかま、くよもりや、
あやで、まめがまな、
くせで、まめがまな、
あやで、うちへ、なよら、
くせで、うちへ、こねら
又かみまもの、みるめ、
ちとなれの、みるめ

(一九) あがおなりかみのふし

一きやうの、よいこせが、

(二)ア、人名

(二)モ、人名

きやうの、よいねとが、
あやくせ、めづら、みやみ、
又よいこせが、さいく、
よいねとが、さいく

(二〇) (まけちなはのふし)

一きこるおよぐま、
きみがなし、てづて、
かみまも、おしあむちへ、ちよむれ
又とよむおよぐすく

(二一) きみのつちのふし

一きこるきみよしや、
みものより、おれむちへ、
や、のくせ、なよひかせ

校訂おろろさうじ

又 又 又
又 又 又
又 又 又
又 又 又

(三三) いべのいのりのふじ

一きこゑ、きみがなし、
いつこ、ま、よりおれて、
なさいきよもい、あんじおそい、
あまこ、よりあぢちへ、
ひたりにておちへなかにおしかけておしおちへ
まなしやど、たちよる
うちあけるまきりにておちへこねる
又 又 又
このみ、しま、つきおれて
又 おぎも、うちよ、よまらま、
大ぎみよ、まなよま
又 あよが、うちよ、おほへま、

三の五
七の二

(一)モ、男

(二)モ、人名

(三)モ、月日
のてるやう
にこ

(四)モ、勝

十六の三三

(一)モ、清水

せだかこよ、まなよま
又 大^(三)ころた、みまぶてま、
おぼつより、かかれ
又 ^(三)もりあいこた、みまぶてま、
かぐらより、かゑれ
又 ^(三)てるかたが、てるしのが、
てりよる、やよ
おぎも、うまれぢちへ

(三三) まよりもりぐすくのふじ

一きこゑ、ぐしかばよ、
まげち、たまさらま、
しま世の、かほうさうぞ、いちへみ
又 又 又
又 又 又
又 又 又

校訂おもしろさうし
又くよの、去つらいが

(二四) 去けちなむがふし

一 いけの、もりぐすく、
きやよせ、ときあがりや、
なみ、おそう、二でおきこねる (二) みやみおうね
又ちやくよもりぐすく
又こたら、むか、さいく

(二五) 去けちなむがふし

一 くめの、さすかさは、
(三) なさが、おもひきみ、
よ、二でおきこねる そろう、ぐしかむ、げらへて
又とよむさをかさが

(二)モ、舟

十一の五〇
二十一の三二

(二)モ、父

(二六) 去けちなむがふし

一 きこゑてるきみや、
大ぎみぎや、もちなし、
あんどおそい、三でおきこねる ア そろう、
かなしけや
又とよむ、てるきみや
又去よりもり、あんどおそい
又まだまもりあんどおそい

(二七) きみのつちのふし

一 きこゑ、てるきみや、
世もちむし、こよむちへ、
去ま、うちくせ、
あんどおそいよ、二でおきこねる みおやせ

七の一五

又ごよむてるきみや

二の四三

(二八) かなふくがふじ

一ごゑく、もり、みやげれを、

あが、なさが、ちよ^アよる、

もちろちへ、こかしよる、きよらや

又あがるもり、みやげれを

(一) 父

(二九) うちいてまも、くらのふじ

一かなふくの、もりよ、

もりあい、た^アみきよ、

きも、きやさ、おしなせ、

なさいきよ

又あだよやの、もりよ

(一) モ、父

(三〇)

一もりあい、きみ、きみよしやが、

いそこ、なみつりよせ、つりあ^アぢへ

又どかしきの、まこ^ニろく、まこらく、えねしやり

又つくちの、まゆの、いふちへ、あがてくれを

又あらむぎやが、おろむぎやが、ほをな

又いちのども、おそいぎや、あまの、ものくしや

又かめ、とてる、ざんとてる、てやと

又どらんで、まらんで、まられ

(三一) も、くらのふじ

一やびく、くまもとよ、

いきやる、まぢや、おてが、

大ぎみ、なおしやり、つかい

(一) モ、男

(二) モ、夢
(三) モ、夢

校訂おもしろさうし

又たけが、くまもとに
うまた、なてとうて
又まやなめ、なてとうて

(三三) てやんおなぢやらのふじ

一 くらとの、^アきみの、
せなとの、きみの
又まもごよみ、いくさまもの、
きうやれ、^{ア、キ}いくさ
又あたり、せめつけて、
かくち、せめつけて
又^(二)いちやぢや、せめつけて
又^(三)かなぢや、せめつけて
又あたり、おそいつけて、
かくち、おそいつけて

(一)ア、門と

(二)モ、門と

(三三) さしふおれなおちへがふじ

一 きこゑ大ぎみぎや、
とよむせだかこが、
かぐら、ごよで
又いきやる、あんどおそいが、
いきやる、たゞみきよが
又きみよ、ほこられて、
ぬしよ、ほこられて
又ゑがなんか、たてを、
よが、^アなんか、たてを
又めづらしやど、ありよる、
おもかしやど、ありよる
又^(二)あけどまよ、おれぼしや、
あけどちよ、おれぼしや

(一)モ、明朝

又あさか、たけ、やひちへ、
 又ちく、たけ(やひちへ)
 又あけ、なおり、まいたて、
 又おりかさ、そへたて
 又かみがなし、まへたて
 又大ぎみよ、そへたて
 又げよ、またよ、のろく
 又だよまたよ、かみく
 又なを、かけの、まみやよ、
 又いと、かけの、まみやよ
 又かめん、まだかさ
 又けなこそ、ほやけさ
 又大ごろた、そへたて、
 又もりあいこた、そへたて
 又いせゑけり、あんじおそい、

あが、かいなで、たゞみきよ
 又あがぐちやが、よへつき、
 又せるまゝが、よいつき
 又きみつかい、まよむちへ
 又ぬしつかい、まよむちへ
 又てるかえを、よしらめ
 又てるしのを、よまらめ

(三四)

一きこゑ、せのきみぎや、
 又うらくと、そりやせ
 又とよむせのきみぎや

(三五)

一まにしが、まねく、ふけを、

校訂おもしろさうし

あんじおそい、一てだの、

又おうねど、まちよる

又おるちへが、おるちへど、ふけば

ありきゑとのおもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

(一)モ、首里
 天加那志美
 御前の御事
 (二)モ、行幸
 の御時天地
 の震動する
 やうにと
 (三)モ、上に
 同意

二二の二三

(一)

一大ぬしぎや、天とらるるやよ、
 又ぬしぎや、あめとらる、たるやよ
 又大ぬしぎや、あやこをま、たるやよ
 又大ぬしぎや、あづこをま、たるやよ
 又大ぬしぎや、まをへあなよ、ちよとちへ
 又大ぬし、とりのもり、ちよとちへ
 又大ぬしぎや、國まをり、あよとちへ

(二)

一むかし、とちまりや、
 てだこ、大ぬしや、
 きよらや、てりよとれ

又せのみ、まぢまりよ

又てだ、いちろくが

又てだ、はちろくが

又おさん、まぢへ、みおれを

又さよこ、まぢへ、みおれを

又あまみきよと、よせまぢへ

又まねりきよと、よせまぢへ

又ままつくれ、てまぢへ

又くよつくれ、てまぢへ

又こらきの、しまく

又こらきの、くよく

又ままつくら、ぎやめも

又くよつくら、ぎやめも

又てだこ、うらきれて

又せのみ、うらきれて

又あまみや、まぢや、なすな

又まねりや、まぢや、なすな

又まやりを、まぢや、なしよまぢ

(三) あけしのがふし

一ぢ天とよむ、大ぬし、

ほしのかた、もちろちへ、ちよまぢ

又天とよむ、まかぬし

又やしのみまよ、めしよまぢへ

又ほしのかたの、みきよ、うび

又せちまつるぎ、さしよまぢへ

又こゑかまの、なりきよら

又あもご、よら、まよまぢへ

又おくご、まよご、まき、よまぢへ

又おくごまうご、ふみ、よまぢへ

又なみごやう、ふみ、よむちへ
 又かさなおり、さしよむちへ
 又きもき、ごうし、さきたて
 又ほごけ、たかべ、さきたて
 又あまおれ、大ぎみ、さきたて
 又國おれ、大ぎみ、さきたて
 又天がなし、まぢやけむ
 又てよきよらと、まだけむ

(四) うちいてむおしかけふし

一さやはだけ、みちやけ、るよ、る、やれおせ
 又そこよやだけ、みちやけ
 又さんこおり、あつる
 又さんみや、あまやげ、あつる
 又よきの、いろの、つまぐる

(一)モ、くらを
 不(譽)て
 いふ言葉
 (二)モ、上に
 同
 (三)モ、しり
 かいふこと
 (四)モ、むな
 かいふこと
 (五)モ、馬の
 腹帯
 (六)モ、手繩
 之事

又ままぢよ、きやの、つまぐる
 又金、きやぐら、よりかけ
 又なむぢや、きやぐら、よりかけ
 又玉、まぢりぎや、よりかけ
 又玉、くみぎや、よりかけ
 又ておのいご、まごるび
 又くもこたづな、よりかけ
 又大ぎみの、めしよむちへ
 又くよもりぎや、めしよむちへ
 又よなとをま、おれむちへ
 又むてんをま、おれむちへ
 又浦まむり、めしよむちへ
 又さきまむりめしよむちへ
 又あがるいよ、あよみむ
 又てだがあなに、あよみむ

校訂おもしろさうし

(五) 大きみぎやこきこやりぎやふし

(一)モ、朝無風
(二)モ、夕無風
(三)モ、船をいふ
(四)モ、揖の事

一大きみぎや、いとめづら、めしよむちへ
あまへて、げらいこぎ、^ア 志よむちへ
又國もりぎや、玉めづら
又^(一)あさどれが、志よれを
又^(二)ようどれが、志よれを
又^(三)いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせて
又^(四)てかち、ゑらで、のせて

(六) 大きみぎやいとめづらがふし

一大きみぎや、時とやり、おれむちへ
あまへて、志まより、まさりよむちへ

(一)モ、此の島のこと

(七) あけしのがふし

又くよもりぎや、ゑかどやり
又けおの、よがる、ひよ
又けおの、きやくゝる、ひよ
又大きみぎや、志ま内どみ、めしよむちへ
又くよもりぎや、けおの、とねうちめしよむちへ
一きこへ、せぢあらきみ、
だしま、ごよも、おもかど、
あがて、おむちへ、
見かいきよいきやて、みちやる
又ごよも、せぢあらきみ
又あさどれが、志よれを
又ようどれが、志よれを
又いちやきよらと、おしうけて

校訂おもしろさうし

又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせて
又てかち、ゑらで、のせて

(八) うらおそいふし

一きこゑ、大きみぎや、
てるかはと、のだて、
あちおそいゑよ、

天下おそい

又とよむ、せたかこが、
てるしのと

又いせゑけり、あちおそい

おぎも、うちは、なげくな

又いせゑけり、たゝみきよ、

あよが、うちと、なげくな

又いくさ、おしたてを、

大きみぎ、よしらめ

又せひやく、おしたてを、

せたかこを、よしらめ

又くよもちの、さうら、

かくらなよ、よそいて

又うらよせの、もどろ、

おぼつなよ、よせて

又くよかねの、さうち、

ゑまた、たいらげて

又うら、ひぢめ、もどる

くに、ひろし、よそい

(九) きこへ大きみぢやくよよせたるあちおそいがふし

一あおり、くもの、あんど、

校訂おもしろさうし

ぢやぐよまらたる、

うちちへま、もどれ

又ており、くもの、あんじ

又まより、おや、いくさ

又ぐま、おや、いくさ

又いたぢや、せめ、つけて

又かなぢや、せめ、つけて

又いたぢや、せめ、いちやちへ

又かなぢや、せめ、いちやちへ

又まゝき、おい、つめて

又てらほ、おい、つめて

又もゝそ、きりふせて

又なゝそ、きりふせて

(一〇) うらおそいおもしろのふし

一いしてんが、おもしろ、

ま人の、けいいちよ、みもん

又かなてんが、おもしろ

又けおの、よかる、ひよ

又けおの、きやかる、ひよ

又きこゑ、あんどおそい

又ごよむ、あんどおそい

又きやの、うち、あやみやよ

又きやの、うち、くせみやよ

又物、まいり、まよむちへ

又てら、まいり、まよむちへ

(一一) きこへさをかさがよなおせがふし

一きこゑ、こばせりきよ、

みやり、ぼしや、まよりの、

めづらしや、さよ、ある

又ごよむ、こばせりきよ

又けおの、よかるひよ

又けおの、きやかかるひよ

又あがるいと、たかべて

又てだが、あなた、たかべて

又やねの、年ならを

又むかう、年ならを、

又よくがほう、するむ

又のちがほう、するむ

又まよりもり、まられ、

又まだまもり、まられ、

又あんじおそいよ、まられ、

又た、みきよよ、まられ、

又ひやくさ、ぎやめ、ちよとれ

(一)モ、東を
差ていふ

(二)モ、來年
のこと

又も、とぢやめ、ちよとれ

(一)きこへこむせりきよみやりぼしやがふし

一きこゑ、さまかさが、

よけ、よう、よ、なおせ、

世うなおさ

又ごよむ、さまかさよ

又けおの、あけどまよ

又けおの、あけどまよ

又あがるいと、みやれを

又てだがあなよ、みやれを

又むらさきの、あやぐも

又むらさきの、のちぐも

又ままなかね、ごおり

又くまなかね、ごうり

(一)モ、今日

の曙のこと

をいふ

(二)モ、上に

同

(三)モ、雲を

譽めていふ

(一三) きこへくむせりきよやれけがふじ

一ごしま、ままおそいや、
 ふれまで、こけつな、やちよく
 ゑやれおそい、やちよく
 又きこゑ、くよ、せりきよ
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて

(一四) あかんおゑつきがかいごりがふじ

一きこゑ、こむせりきよ、け、やれ、け

(一)モ、小浪
のこと

(二)モ、百人
(三)モ、七(七
十?)人、七
に
てなり

又ごよむ、こむせりきよ
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又まちよぎや、かたむるよ
 又まきしや、かたばるよ
 又さゝら、なみ、たてを
 又めよと、なみ、たてを
 又まづの、なり、まよれを
 又かねの、なり、まよれを
 又もゝそ、ほこ、もたちへ
 又なゝそ、ゆみ、もたちへ

(四)モ、歩行
なり

校訂おもしろさうじ
又もゝそ、さだけ、むちへ
又なゝそ、去だけ、むちへ
又あがるいよ、あよ^(四)で
又てだがあなよ、あよで

(一五)

一去より、ま^(一)人、げらへ、ま^(一)人
又だり去よ、ゆそい
又ぐま^(二)く、ま^(二)人、げらへ、ま^(二)人
又た^(三)まき、ゑらで、さゝちへ
又ゆるい、ゑらで、こせて
又み^(三)ねま、くびり、なゝそ、たうちへ
又ぎぼくびり、もゝそ、たうちへ
又これど、去より、これど、ぐま^(四)く
又去より、ちよむる、あちおそい

(一)モ、刀之
事
(二)モ、大中
津嘉山御殿
西に有小坂
を云々

又ぐま^(一)く、ちよむる、あちおそい

(一六) 大ぬしぎや天ごころがふじ

一大ぬしぎや、せちあら、せち、
去らたる、げよ、また、たるよ
又大ぬしぎや、よどり、あまび
又大ぬしぎや、まうご、あまび
又かせなおま、せちあら、せち
又うみなおま、せちあら、せち
又さ^(二)よ、去らぬみおね、かた、おしうけて
又かた、去らぬ、ゑそこ、かた、おしうけて

(一七) むせんおなぢやらがふじ

一去より、くよ、なる、あんじ
又ぐま^(一)く、くよなる、あんじ

(一)モ、數知
らぬ船を云

又 志より、ちよむる、あぢおそい
 又 ぐまぐ、ちよむる、あぢおそい
 又 けおの、よかるひよ
 又 けおの、きやかる、ひよ
 又 大ぎみえ、たかべて
 又 くよもりえ、たかべて
 又 かみまもえ、あごへて
 又 ちはなれ、そろいて
 又 いしへつえ、こので
 又 かな、へつえ、こので
 又 ^(二)いしらごえ、おりあげて
 又 ましらごえ、つみあげて
 又 なみの、うへえ、げらへて
 又 となぐまぐ、げらへて
 又 物まいり、まよむちへ

(二)モ、石垣の事なり

又 たら、まいり、まよむちへ
 又 かみも、ほこり、よむちへ
 又 ごんげんも、ほこり、よむちへ

(一八)

一 さとし、こいちやるよ、
 又 へ、け、やれ、かいごり
 又 あんの、こゑぢやるよ
 又 あさどれが、まよれを
 又 ようどれが、まよれを
 又 いたきよらえ、おしうけて
 又 たなきよらえ、おしうけて
 又 ふなこ、ゑらで、のせて
 又 てかち、ゑらで、のせて

校訂おもしろさうし

(一九) あおりくものあんじのふし

一 きこゑ、 大ぎみぎや、
 ちやくよ、 よせたる
 あちおそいゑよ、 だよめ
 又 だよむ、 せだかこが
 又 いせゑけり、 あんじおそい
 又 いせゑけり、 たゞみきよ
 又 ひやくさ、 せぢまされ
 又 ゑよりもり、 ころた
 又 きも、 ちよく、 げよあれ
 又 みまじれ、 ころた
 又 あよ、 ちよく、 げよ、 あれ
 又 げある、 せやり、 ども
 又 げある、 ており、 ども

又 あよ、 まよい、 ゑめて
 又 きも、 まよい、 ゑめて
 又 ゑよりもり、 あせらえ、
 つち、 ぎりよ、 きらせ
 又 まだまもり、 あせらえ
 みちや、 ぎりよ、 きらせ
 又 うらのかせ、 きゝあいて、
 なでまぶら

(二〇) あけしのがふし

一 かみがなし、 かみきよら、
 あおる、 こがせ、 やもどる、
 くも、 ひきやり、 こがね、 ゑま、
 ちちへ、 おぢちへ
 又 のろがなし、 のろきよら

第十

又あさどれが、去よれを
 又ようどれが、去よれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて

(三二) あがる三日月がふし

一ゑけ、あがるいの、みづかむ、
 ゑけ、さいむたるの、さくら
 去けくご、おりさちへ
 けおより、あい、いてるむ
 又ゑ、け、てだが、あなの、みづかむ
 又ゑ、け、あさどれが、去よれを
 又ゑ、け、ようどれが、去よれを

又ゑ、け、いたきよらと、おしうけて
 又ゑ、け、たなきよらと、おしうけて
 又ゑ、け、ふなこゑらで、のせて
 又ゑ、け、てかちゑらで、のせて

(三三)

一ゑ、け、よう、きこへ、おむもりや
 又ゑ、け、よう、しまようちごり、よむちへ
 又ゑ、け、よう、ごよむ、おむもりや
 又ゑ、け、よう、けおの、よかる、ひよ
 又ゑ、け、よう、けおの、きやかる、ひよ
 又ゑ、け、よう、きこへ、あぢおそいや
 又ゑ、け、よう、ごよむ、あぢおそいや
 又ゑ、け、よう、大ぎみと、たかべて
 又ゑ、け、よう、せたかこは、たかべて

(二三)

一 きこゑ、こをせりきよ、
 志よりの、めづらしや
 又 ごよむ、こをせりきよ
 又 あさどれが、志よれば
 又 ようどれが、志よれば
 又 いたきよらと、おしうけて
 又 たなきよらと、おしうけて
 又 ふなこ、ゑらで、のせて
 又 てかち、ゑらで、のせて

(二四)

一 ゑ、け、あがる、三日月や、
 ゑ、け、かみぎや、かなまゆみ

又 ゑ、け、あがる、あかぼしや
 又 ゑ、け、かみぎや、かなまゆき
 又 ゑ、け、あがる、ぼれぼしや
 又 ゑ、け、かみが、さしくせ
 又 ゑ、け、あがる、のちぐもり
 又 ゑ、け、かみが、まなきおび

(二五) 志よりくまなるあんじがふし

一 あれや、この、かいごり
 又 おせや、この、かいごり
 又 てやん、おなちやらの
 又 きもちや、おなちやらの
 又 おなご、あんど、やれどむ
 又 ゑどむ、あんど、やれどむ
 又 めやらべが、みしゆ、ゑらで

校訂おもしろさうし

(二)モ、十度

又 ちこよいと、ちこよいと、ちこよいと、
 又 おりよいと、おりよいと、
 又 あかぎ、いやご、つくく
 又 よまぎ、いやご、つくく
 又 かい、ふね、なて
 又 やかい、ふね、なて

(二六) ちやりほしやがふし

一 みなよ、まちらまが、
 かほう、も、ちらび
 又 ちむよ、まちらまが
 又 ちかしきの、あかなさ
 又 なりむらの、あかなさ
 又 なりむらの、そやけご

(一)風の向風
にも行馳な
いふん

又 も、ちらびと、おしうけて
 又 やそ、ちらびと、おしうけて
 又 せど、ちない、おうね
 又 ぬし、ちない、おうね
 又 かせむかて、ちきあがて
 又 きた、むかて、ちきあがて
 又 あめふりやり、ちみあがて
 又 くれふりやり、ちみあがて
 又 おさんだけ、ぬきあてれ
 又 まこちあな、のきあてれ

(二七) あけしのがふし

一 中べ、あやの、てよ、
 きみぎや、やじめさそ、
 みとろかね、みおやせ

(一)モ、恐敬
斟酌する事

又くもへ、あやのてよ、

ぬしが、やじめさま

又あふくもの、よろいと、

つみあげて、みおやせ

又まゑのまへ、ごみよ

つみなおちへ、みおやせ

(二八) ねいしがまいしがふじ

一いしけした、よう、がほう、

よせつける、ごまり

又かねし、かね、どのよ

又いしへつと、こので

又かなへつと、こので

又いしけ、より、なおちへ

又なたら、より、なおちへ

又くはぬきと、こので

又やまと、ふね、こので

又やまと、たび、のぼて

又やしろ、たび、のぼて

又かえら、かいよ、のぼて

又てもち、かいよ、のぼて

又おもいぐまの、ためま

又むりがねが、ためま

(二九) まよりくまなるあぢがふじ

一いちなまの、ごよみ、うら、

あまへ、ほこよる、きよらや

又あらさきの、ごよみ、うら

又けおの、よかる、ひよ

又けおの、きやかる、ひよ

又いなこみや、おろちへ
又あらこみや、おろちへ

(三〇) かいふたの大ころがふじ

一たいら、こしらへや、
おれなおせ、かみく
又もりの、こしらへや
又けおの、よかる、ひよ
又けおの、きやかる、ひよ
又がぢやもりよ、おれむちへ
又ねだてもりよ、おれむちへ
又もゝそ、ひちへ、おれむちへ
又なゝそ、ひちへ、おれむちへ
又あまみやふた、おろちへ
又まねりやふた、おろちへ

又まよりもり、おれむちへ
又まだまもり、おれむちへ

(三一)

一大みづの、みぢよいもい、
おろちへ、こうて、そやせ
又ふるさこの、みぢよいもい
又みぢよいもいが、うゑたび
又みぢよいもいが、あらたび
又よざけもり、どころ
又ゆみきもり、どころ
又おこぢやべと、さそやり
又ちおこぢやと、さそやり

(二)モ、兄弟
をいふ

(一)モ、始て
旅に行事

(三二) こむせりやれけがふじ

(一)モ、朝無
 風之
 (二)モ、夕無
 風之
 (三)モ、船の
 異名
 (四)モ、同上

校訂おもしろさうじ

一あかん、おゑづきが、かいごり

又ねさん、おゑづきぎや

又(二)あさどれが、まよれを

又(三)ようどれが、まよれを

又(四)いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(三三) まらしよきなむがふじ

一きこゑ、およのきみ

ゑ、やれま、まけかけて、こがせ

又とよむ、およのきみ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらは、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて

(三四) たいらこしらいがふじ

一きみ、なおり、むかきみ、

うらくご、おせ

又きみ、むかく、大ぎみ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(三五) せじきよかなぐそくがふじ

一 去より、いちやし^くが、
 こちへきよる、きよらや
 又ぐそく、いちやし^くが、
 又あさどれが、去よれを
 又ようどれが、去よれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて

(三六) うらおそいおもしろふじ

一 まさりきよが、ふなやれ、ゑ、
 おきよや、あんじおそいそ、ちよせれ

又うきあかりぎや、ふなやれ
 又なけち、て、おもな
 又あよて、て、おもな
 又去もの、世のぬしのそろい
 又あんじ又の、あんじのそろい
 又まほこりの、おなちやら
 又をゑつぎの、おなちやら
 又おやの、もど、かまへ
 又あさか、もど、かまへ
 又こうてと、ゑらたな
 又かくちへ、ゑたな
 又のせで、ちちやる
 又さけ、かめよ、入たる
 又みき、かめよ、入たる

校訂おもしろさうし

(三七) くまちやがふじ

一くめの、こいしのが、
 ふなやれ、ひやし
 又もゝうら、こいしのが
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらせ、おしうけて
 又たなきよらせ、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又つきの、むか、きよらが
 又てだの、むか、きよらが

(三八) こかせがふじ

一くめのこいしのが、

ちみち、あよむ、やまこかせ
 又もゝうら、こいしのが
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらせ、おしうけて
 又たなきよらせ、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又あかた、やりおそい
 又きみの、やりおそい
 又あがるいよ、むかて
 又てだがあなよ、むかて

(三九)

第十

一くめの、こいしのが、

くよ、ぢやかよ、むかきよか、

たま、世せ、おうね

又もゝうら、こいしのが

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(四〇) こかせがふし

一くめの、こいしのが、

とりぎや、とうどり

又もゝうら、こいしのが

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふな、こゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(四一) かいふたの大ころがふし

一ほかま、大やこが、

やゝご、おせやちよ、こた

又いちへき、大やこが

又けおの、よかる、ひよ

又けおの、きやかる、ひよ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

(一)モ、楯取

又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせて
又てかち、ゑらで、のせて
又あがるいよ、あよみよ、
又てだがあなよ、あよみよ

(四二) うちいてまおしかけふじ

一あけしの、かみよしや、
やれ、け、や、の、やほう、あふらちへ
又あけしの、のろよしや
又なよかきの、せと、ちやうを
又そできよらが、ゆどり、ちやうを
又なよかきの、てどり、ちやうを
又なみのてや、ふなを、まなない

又かせのてや、ほうふぐろよ、まない
又ておの、いごと、もで、あししやり、みなをせ
又ておの、いごと、おしあししやり、たづなせ

(四三)

一よなおさが、ゑそこ、ゑ、け、やれ、け
又かみよしやが、ゑそこ
又あさどれが、まよれを
又ようどれが、まよれを
又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせて
又てかち、ゑらで、のせて
又うらまじり、まよまじりへ
又さきまじり、まよまじりへ

校訂おもしろさうじ

又あがるいよ、あよみよ
又てだがあなよ、あよみよ

(四四) うちいてまさをしきよがふし

一きこへ、おしかさ、
とよむ、おしかさ、
やうら、おちへ、つかい
又きよの、おきしま
きよの、もいしま
又おきしまよ、から
ひかかざり、かち
又ひかかざり、から
中せどうち、かち
又中せどうち、から
かねのえま、かち

又かねのえま、から、
せりよさよ、かち
又せりよさよ、から、
かいふたよ、かち
又かいふたよから、
あまもりよ、かち
又あまもりよ、から、
あかまるよ、かち
又あかまるよ、から、
さちきやもり、かち
又さちきや、もりから、
かなひやぶよ、かち
又かなひやぶ、から、
さきよだよ、かち
又さきよだ、から

校訂おもしろさうし

おやとまりよ、かち

又おやとまり、から

又よりもりよ、かち

(四五)

一かいふたの、大ころ、

やふら、おせやちよ、くけ

又かなもりの、大ころ

又大ころが、まみやよ

首里ゑどのおもろ御さうし

(一)モ、祖父
こ
(二)モ、井戸
のことこ

(一) まつまじやがふし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、おもいぐせ、
てだのかた、もちろちへど、お見る
又てたがあなの大ぬし

(二) まつまじやがふし

一あがるいよ、さくとな
天とよで、さくとな
又(二)きおほちが、お見よや、
ゑん、げらへ、あらまし
又(三)むさうせや、ちよむ、
みちへ、いちへ、いき、ぬむ、まし
又くたるつちや、ちよむ、

校訂おもしろさうし

みちへ、いちへ、あよ、ぬを、まし

(三) くめのきみまいがふし

一 おもごだけ、つかさご、

くめの、まま、おむちへ、

世なおしが、おむちへ

又(二) きちやらたけ、つかさご、

なさが、まへ、おむちへ

又まよりもり、あちおそい、

ともゝをへ、

あんじおそいを、ちよむれ

又まだまもり、あちおそい、

ともゝをへ、

あちおそいを、

又やへま、まま、ぎやめむ、

(二)モ、おも
とたけの異
名

(二)モ、八重
山島の異名

はたら、まま、ぎやめむ、

ともゝをへ、

あちおそいを、

又(三) いなぐよ、ぎやめむ、

とてるま、ぎやめむ、

ともゝをへ、

あんじおそいを、

又なむ、むたちへ、

いとむたちへ、

ともゝをへ、

あんじおそいを、ちよむれ

(四) くめのきみまへがふし

一 おぼつおて、みれを、

さりよこ、まちへ、みれを、

二十一の一八
廿一の二〇六

あやみやの、めづらしや

又中ち、あやみやよ、

ゑんげらへ、あかる

又中ち、くせみやよ、

むか、げらへ、あざる

又まごよたが、つかいまよ、

くめの、まま、おむちやれ

又あが、ころが、つかいまよ、

なさが、まま、おむちやれ

又うきおほちが、世、やてや、

もゝかめむ、まへまし

又あやみやの、大ころ、

あまこ、あむちへ、もどらめ

又あやみやの、ころく、

みかう、あむちへ、もどらめ

(一)モ、我が
(二)モ、男
(三)モ、父親
(四)モ、祖父

(五)モ、清ら
庭
(六)ア、大男
(七)モ、男
(八)モ、御顔
(九)モ、會

(五) うちいてむくめの太おそいがふし

一あらかきの、うきおほちが、もりよ、

あが、なさま、

ふため、まさりよむれ

又大ざごのごよみもり、おれむちへ、

あがなさま

又大ざごの、ねたてもり、おれむちへ、

あがなさま

又あらかきの、いなみね、おれむちへ

あがなさま

又十いろ、あしやげ、八いろ、あしやげ、こので、

あがなさま、ふため

又百かめと、八十かめと、まへて、

あが、なさま

校訂おもしろさうし
又おもいきみ、げらへきみ、てづて、
あが、なさを

(六) きこへ大ききみやさやむたけおれちへがふし

一きこゑ大ききみや、

おしやたる、せいくさ、

あちおそいしゆ、

よそろいれ

又とよむせだかこが

又あそれ、かなし、きみとい

又あそれ、かなし、きみとゑ、

又あそれ、かなし、きみとゑ、

又あそれ、かなし、きみとゑ、

又あそれ、かなし、きみとゑ、

又あそれ、かなし、きみとゑ、

一の三五
二十一の二〇

(一) 勢軍

(二) 餘能

(三) モ、人名

(四) モ、船の
異名

二十一の二二

(一) モ、按司
(二) モ、同

二十一の二二

又大ころた、ちやくよして、

くよ、うちして

又あそこ、かた、ころたよ、

又あそこ、かた、ころたよ、

又あそこ、かた、ころたよ、

又あそこ、かた、ころたよ、

又あそこ、かた、ころたよ、

(七) うちいてまあまみやみるやまがふし

一よなど、むりきやねや、

またつ、むりきやねや

又くよの、うきくも

くよの、たみきよ

(八) うちいてまくめのきみといがふし

二十一の二三

一 なかち、あやみやま、

あや、きやね、

おしあい、しゆべれ

又 中ちくせみやま

(九) さまじきよがふし

一 あまみや、きみとゑや、

けおの、きみといや、

もゝと、てづられゝ

又 ぐしかべの、つかい

かなふくの、つかい

又 (三) いちやん、ぐち、おいみき

かなぢや、ぐち、おいみき

又 まごよたと、まぢやけて、

あかころと、まぢやけて

(一)モ、戸口
(二)モ、同

(三)モ、清ら
庭

二十一の九一

又 (三) あやみやの、ころた、

たちより、ゐより まちより

(一〇) うちいてまあまみやみるやまがふし

一 あらかきの、もりよ、

たりる、このみるやま、つかい

又 おきおほぢぎや、もりよ

又 うみや、げらへむちへ

又 まみや、げらへむちへ

(一一) なかふし

一 ゑんこ、ごよたしゆよ、

もゝあんじやらと、やちよむ、

ゑやれ、ごよむ、あぢおそい

又 よかる、ごよたしゆよ

二十一の三九
二十一の九二

又きこゑあぢおそいや
又とよむあぢおそいや

(一二) なかふじ

一 ゑんこ、とよたしゆよ、
よかる、とよたしゆよ、
おもいきみ、げらへきみ、
きよらや、こた、

げらへて、ちよれ

又たが、ためが、たほう、

たがためが、よしも

又おもいぐせの、ためを、

きみよしぎや、ためを

(一三) いやゝとよたしがふじ

一 ふくじ、ぎまのまゆよ、

よかる、ぎまのまゆよ、

おもい、こて、げらへ

又うねぐまぐげらへ

大ぐすくげらへ

又かさま、むかてだよ、

まもの、むかてだよ

又いし、ちやうと、たてゝ

かな、ちやうと、たてゝ

(一四) ゑんことよたしゆもゝあぢがふじ

一 ふくじ、ぎまのまゆよ、

てだよ、みちやる、まさり

又よかる、ぎまのまゆよ

又かさす、むかてだよ

校訂おもしろさうじ

(一五) 聞うらきらしやみぼしやがふじ

一 いやり、とよたしゆよ、
 まくし、とよたえゆよ、
 おやより、こので
 又かさむ、むかてだよ、
 まもん、むかてだよ
 又うまの、とし、きよもの
 又うまれ、とし、きよもの

(一六)

一 いやく、とよたしゆよ、
 まくし、とよたえゆよ、
 うらきらしや、みぼしや
 又えなれ、おる、あんの、

とむけ、おる、あんの
 又かむえんた、おりやり、
 こゝえんた、うれむ
 又かさむ、むかてだよ、
 まもの、むかてだよ
 又うち、あよみが、みもん、
 ふれまへが、みもん
 又まへよ、かち、よてこう、
 そいま、かち、よてこう

(一七) たんなふじ

一 きみよしが、
 さしふ、てるくもの、
 いきやる、さうせ、あてが、
 くもこより、いでたる、

まだまより、いでたる
又たけが、くまもどよ、
もりが、くまもどよ

(一八) うちいてまあまみやみるやまがふし

きみよし、きみの、
きみよ、ほこりよむちへ
あんじおそいや、
もゝど、世を、ちよむれ
又きみおそい、きみの、
きみ、ほこりよむちへ
又きこゑあぢおそい
又どよむあぢおそい
又またいらの、あさいよ
又おどかねの、まころく

又のち世かる、まころく

(一九) あおりやへがふし

一きこゑ、せんきみぎや、
ましけを、まげらへまよむちへ
又どよむせのきみが
又きこへあんじおそいや
又どよむあぢおそいや
又こみかを、たかべ

(二〇) あおりやへがふし

一おぎやか、あぢそいや、
でむん、おぎも、そやさ
又とたみ、いくさこ
又中ぐすくおもい

校訂おもしろさうじ
又きもたかのおもい

(二二) うちいてまきたたん世のぬしがふじ

一あおりやへ、きみの

げらへ、みもん

又きみおそいきみの

又だよま、御ま事る

又げよま、御ま事る

又あかぐちやよ、よいつちへ

又せ(三)るまゝに、よいつちへ

又せだかこが、み御まへ

又あぢおそいが、み御まへ

又もゝがめと、まゑて

又やそがめと、まへて

又きみつかい、たりる

(一)モ、火神
(二)モ、火の
神の異名

又ぬしつかい、たりる

(二三) あおりやへがふじ

一くめの、こいしのが、

もゝまへ、とよむ、

きこへる、もり

又もゝうら、こいしのが

又きこへあんじおそいが

又とよむあぢおそいが

(二四) あおりやへがふじ

一くめの、こいしのが

ゑ、け、みのかりアハ

うちちへ、とよみ

又もゝうら、こいしのが

(一)吉日

廿一の二二

校訂おもしろさうし

又けおの世かるひよ

又けおのきやかるひよ

(二四) あおりやへがふし

一くめの、こいしのが、

世へせ、あかき、おどん

又も、うらこいしのが

又きこへあちおそいが

又とよむあちおそいが

(二五) あおりやへがふし

一くめのこいしのが、

も、うらこいしのが、

せだかさ、とよみ、よむる、た、み

又きこるあんじおそいが

廿一の二二

廿一の二二

とよむあちおそいが

又ぐし、かむの、もりよ、

かなふくの、もりよ

(二六) うらおそいがふし

一せだかこと、

だま、御事事る、

こいしのも、

もちろゑて、みおやせ

又あちおそいや、

だま、御事事る、

こいしのも、

又あかぐちやが、てるちろ

又せるま、が、てるちろ

又さしふと、おもしろと、せらま

(一)モ、神人の事

(二)モ、神人の異名

廿二の一二四

校訂おもしろさうし

又^(三)むつきと、せるむと、去らと

(二七) あおりやへがふし

一ぐしかの、またまうちと、

げらへて、よく、げらへて、

まさり、ゆゑる、せたかこ

又かなふくの、またまうちと、

げらへて

又たうの、ふねせよ、

こがね、もちよせる、ぐまぐ、

よく、げらへて

又やまと、ふねせよ、

こがね、もちよせる、ぐまぐ

(二八) きこへせたかこ世かけよせさがふし

(一)ア、馳馬

(二)島のかしら女房事

一およの、きみこゑや、

みやけ、ほしやと、ありよとれ、

こがね、うちの、

世そう、せち、みおやせ

又ごよむあちおそいや

又あやもとろ、めしよとちへ、

よりいちゑ、こがね、さしよとちへ

又よきの、^(三)とやみちやよ、

こがね、くら、かけて

又ゆきの、そよめきよ、

なむちや、くら、かけて

(二九) およのきみといやなさいきよよまなてがふし

一およのきみといや、

やちよこ、いよやよ、

校訂おもしろさうし

おそて、ちよむれ

又おそい、きみとるや

又およむ、いで、人おどせ

又人の、いちへて、およ、おどちへ

(三〇) やちよこいよやまがふし

一 およの、きみとるや、

なさいきよよ、

まなて、とよま

又おそいきみとるや

又おどかねの、まころ

又のちの世かる、まころ

(三一) およのきみといややほうひちへがふし

一 およの、きみとるや、

も、うらの、とよみ

又おそいきみとるや

又ぐしかむよ、おむる

又かなふくよ、おむる

又なさの、うきよぐもが

又おきなむよ、とよむ

又大くよ、とよむ

又こかねの、みしやぐ

又まだまの、みしやぐ

又ぬき、あげれ、みしやぐ

又さゝげれ、みしやぐ

(三二) たんながふし

一ぐしかむの、もりよ、

いなよね、ゆりみちへれ

又かなふくのもりよ
又せもち、おや、たえる
又旦那いきよもいが、たえる
又あんどおそいが、たえる

(三三) かねぐまくおもろく旦那のふし

一かねぐまく、もりよ、
つくせ、よせれ

又きこゑあんどおそいや
又(三)なさが、げらへみやよ

(三四) おもろねやがりがふし

一かねぐまくもりよ、
もゝうら、まちらま、
たちよ旦那へ、ふさよ旦那

二十一の八二

(二)モ、父

二十一の八三

二十一の八四

又ねたてかなもりよ
又なさが、げらへみやよ

(三五) たんながふし

一あらかきよ、お旦那、

ま物、よのぬしの、まもん

又(三)よさの、く旦那、なしよ旦那へ、

又つもの、く旦那、なしよ旦那へ

又ごもゝその、いくさ、

やもゝその、いくさ

(三六) あおりやへがふし

一くめのこいしのが、
もゝうら、こいしのが、
せこい、きゝぼしや、

(一)モ、初

二十一の八五

校訂おしろさうじ

くよとよみ

又あやみねよ、あつる

うきおほぢが、うへけ

又あやみねよ、あつる

うきおぢが、うへけ

又うねよ、おてふてと

大ざとよ、とよで

又大ざとよ、うてを

大くよよ、とよで

(三七) あおりやへがふじ

一だうのしが、つかい、

きこゑ、あんどおそいや、

もよこ、世ま、ちよとれ

又だうの、大やが、つかい

二十一の八六

(一)モ、祖父

(二)モ、祖母

(一)モ、泉

る川

又だう、かぢよ、よご、まよと

又(二)くさうせ、よご、まよと

(三八) やちよこいよやまがふじ

一くめの、世くせ、ぎみ、

いけく、まくとやせ

又おもい、よしせきみ

又御みやたつ、いつこ

又まみやたつ、いつこ

又けおのよかるひよ

又けおのきやかるひよ

又あんどおそいが、み御まへ

又たよみきよが、み御まへ

又もよがめと、まゑて

又やそがめと、まゑて

校訂おもしろさうし

又あんじおそいよ、とやさよ
又たゝみきよよ、とやさよ

(三九) きこゑせのきみぎやいけろくこそろじとがふし

一きこゑせのきみや、

じかきみ、げらへ、つかい

又とよむせのきみぎや

又あかつ、あや、とがね

又あかつ、くせ、とがね

又たるが、さちへ、よせる

又づれが、さちへ、よせる

又こしらへも、よせたれ

又かみよしやも、よせたれ

(四〇) うちいておこもりけおのきみのふし

一きみよし、きみの、

きこ、おそい、きみの、

まちら、ためより

又もゝその、やちよこ

なゝその、やちよこ

又もゝそが、なかよ、

なゝそが、中よ

又くもこも、よりよと

まだまも、よりよと

(四一) やふつよためかちへがふし

一ねうしが、時、かみが、時、

まらたる、いちよか、ころた、

あやの、みやし、うちよとちへ、

かみと、まふたお

又どらの時、かみが時

又けおの時、よさと、かみ時

又なまの時、よさと、かみが時

(四二) あおりやへがふし

一ふくじ、ぎまのまゆ、

人のうらの、かない、

かきよせて、

あぢおそいま、みおやせ

又かさむ、むかてだよ、

人のうらの、かない

又まもんむかてだよ

(四三) あおりやへがふし

一きこゑ、さむかさど、

おとと、きみ、やれども、

おれるかぜ、

きみとやむ、みこい

又とよむさむかさど

又ぐしかむのもりよ

かなふくのもりよ

(四四) あらかきのもりまうちあかるたゝみがふし

一あらかきのもりよ

うちあがるひやし

又あが、なさが、もりよ

又けおのよかるひよ

けおのきやかるひよ

又あんじおそいが、み御まへ

又せだかこが、み御まへ

校訂おもしろさうじ

(四五) うらおそいおもしろのふし

一かねぐまぐ大や、
 おもろ、もる大や、
 世そう、ひやし、
 うちちへ、みおやせ
 又くよのねの大や
 又けおのよかるひよ
 又けおのきやかるひよ
 又あんじおそいが、み御まへ
 又せたかこが、み御まへ

(二)モ、軍を
して島をう
つことん

(四六) うらおそいおもしろのふし

一かねぐまぐ、ねたて、もりぐまぐ、
 世まさる、^(三)ま、うち、ひやし、みおやせ

くよの、ねの、ねたて、もりぐまぐ
 又けおの世かるひよ
 又けおのきやくるひよ
 又あんじおそいがみ御まへ
 又せたかこがみ御まへ

(四七) うちいてむおてゝきみまさりのふし

一おもい、なよくらが、
 まへさうま、ありてと、
 急、け、まさり、きく、うらやみ
 又中ち、まころくが、

(四八) うちいてぬなこのこてろがふし

一なかち、まころくが、
 とよみよる、つかい、

校訂おもしろさうじ

まころくが、げらへ

又ごくよせる、またよ、

とよみよる、つかい

又こしあて、せりやつて

とよみよる、つかい

(四九) うちいてはおもひなよろうがふし

一 おとゝきみ、まさり、

なさが、おもいきみ、

ゑをたれたな、

なさいきよが、

御みかうの、みほしや

又た(一)まとしり、

つきあけむちへ、ちよむちへ

又たまやりちよ、

(一)モ、戸美
稱を云々

おしやけむちへ、ちよむちへ

又たまをだり、

まさあげむちへ

又いとをだり、

まさあげむちへ、ちやうむちへ

(五〇) きこへくしかいまけちなまがふし

一くめの、さをかさむ、

おさか、おもいきみ、

世そろう、ぐしかむ、げらへ

又とよむさをかさむ

(五一) こいしのがさしふこのはらがふし

一かさを、ちやらい、

だりしゆ、とよめ、

みれを、みつまむて

又まもん、ちやらと

又なごの、さまよ

又なごの、ひちやよ

又やまと、ぎやめ、

だりしよ、ごよめ

(五二) 御みしやくぬきあけがふし

一かさま、むかてだの、

でむん、おきもよ、しない

又まもんむかてだの

(五三) でむんおきもまなむがふし

一かさま、むかてだよ、

御みしやく、ぬきあけ

又まもんむかてだよ

又あふの、さまさきよ

又あふの、いふさきよ

又おと、まち、ごよたる

又せさの、おや、おもい

(五四) あおりやへがふし

一きこゑくよおそいが、

くよてもち、げらへて

かほう、せち、まへ

よせて、ちやうむれ

又ごよむくよおそいが

又ぐしかむのもむよ

又かなふくのもむよ

校訂おもしろさうし

(五五) せのきみがつゝこりかぢちがふし

一くよおそい、くよもりが

あそび、よれれを、

せだかこが、つかい

又かでかぢの、中もりよ

あそび、よれれを

又おきて、やりよ

つかい、やりよ

又おる、てやと、

あよむ、てやと、

(五六) あおりやへがふし

一くめのこいしのが、

おぎも、たかもりや、

くよまさり、まよれちへ

又もみら、こいしのが

又くめの中ぐをく

又どよむ中ぐすく

(五七) あおりやへがふし

一くめの、こいしのが、

世の、いきつきの、

世のてもち、みおやせ

又もゝうらこいしのが

又おとまようかぢ、おれれちへ

又とくさうせ、おれれちへ

(五八) あおりやへがふし

一くめのこいしのが、

校訂おもしろさうし

まいと、おどし、

けさつり、ごよで

又も、うらこいしのが

又くめのあんじおそいや

又ごよむあぢおそいや

(五九) あおりやへがふし

一よたましぎや、おもろ、

およより、まさり、

せぢ、そむて、

も、ちやら、まかせ

又よたましぎや、せるむ

又くめのあんじおそいや

又ごよむあぢおそいや

(六〇) あおりやへがふし

一よたましぎや、おもろ

いみど、世世、まさる、

世、たまの、

ごもまるぐまア、シく

又よたま、よやが、せるむ

又きこへあんじおそいや

又ごよむあぢおそいや

(六一) あおりやへがふし

一よたましぎや、おもろ、

も、あぢより、まさり、

世世、まゑ、ながく

たまよ、そろい、むちへ

校訂おもしろさうし

又よたまよやが、せるむ
又きこゑあんじおそいや
又とよむあぢおそいや

七の二五
二十一の四六

(六二) うちいてまぐめのやまぐまぐのふじ

一きこえあんじおそいや、
てるかえま、まぶれ、
まぶり、よむれ、
もゝまゑ、ちよむれ
又とよむあんじおそいや、
てるしのま、まぶれ
又きこゑ大ぎみま、
あんじおそいや、まぶれ
又とよむ大ぎみまゆ、
たゝみきよむ、まぶれ

二十一の三七

又あまみや、きみまへや、
あんじおそいが、おより
又まねりやきみはゑや、
たゝみきよが、おより
又おぼつ、せぢ、おろちへ、
あぢおそいま、まぶれ
又かぐら、せぢ、おろちへ、
たゝみきよま、まぶれ
又かぐら、あつる、こがねまへ、
あぢおそいま、みおやせま、
まぶり、よむれま、
もゝすゑ、ちよむれ

(六三) たんなふし

一かでかむの、どのく

校訂おもしろさうし

よしの、かねまるの、

のちか、まゑ、お世世、

おぎやかもいと、ちよとれ

又けお、ふきよる、まよしや、

よしの、かねまるの、

又なま、ふきよる、よしや、

よしの、かねまるの

(六四) あおりやへがふし

一かでか見の、どのく、

もつとみも、あちとやせ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

(六五) あおりやへがふし

一きこゑせのきみぎや、

さいの、えなの、

まやいと、みもん

又とよむせのきみぎや

又やまご、ゑむせど

又せたかこが、まへよ

又げらへこが、まへよ

(六六) くめのよかせきみいけくしくがふし

一きこゑせのきみや、

あやつちへ、とよま

又とよむ世のきみぎや

又まよりもりぐまぐ

又まだまもりぐすく

(六七) きこへせのきみつくかきみげらへてつかいふじ

一 きこへせのきみぎや、

いけくこと、そろむを、おれら

又 ごとよむせのきみぎや

又 去よりもりぐすく

又 まだまもりぐすく

(六八) あおりやへがふじ

一 大くよ、 ごとよむ、 かねぐすく、

せのきみ、 てづて、 あまやかせ

又 おきなむとよむかねぐすく

又 あさどれが去よれむ

又 ようどれが去よれむ

又 いたきよらとおしうけて

(六九) あおりやへがふじ

一 きこへせのきみぎや、

おれて、 ふれまへを、

去へ、 ながく、

世そろゑて、 ちよむれ

又 ごとよむせのきみぎや

おれてふれまへを

又 あが、 なさいきよ、 あぢおそい、

ねいしの、 てよ、 うへつく、 ぎやめ、

又 てだ、 なさいきよ、 あぢおそい、

まいしの、 てよ、 うへつく、 ぎやめ

(七〇) おもごだけつかさこがふじ

一 あから、 ともかいや、

みもん、ともかいや、
 世、^ナなおしが、おれむちへ
 又くめの、まま、おむちへ
 又かねの、まま、おむちへ
 又まよりもり、ちよむる
 又まだまもり、ちよむる
 又あんじおそいが、おより
 又た、みきよが、おより
 又も、まへ、ちよむれ
 又やそまへよ、ちよむれ
 又中ち、あやみやよ、
 みれを、きもていて
 又なかり、くせみやよ、
 みれを、きもていて
 又おぼつ、おて、みれを、

あやみやの、めづらしや
 又かぐらおて、みれを

(七一) うちあがるひやしのふし

一あらかきの、もりよ、
 うち、あがる、た、み
 又うきおほぢが、もりよ
 又おみや、げらへむちへ
 又まみや、げらへむちへ
 又も、かめと、まゑて
 又やそかめと、まゑて

(七二) まのくりやよなれがみのふし

一みるやよや、よなれ、^ナかみ、やれを、
 けむいつ

又みるやまや、よつき、かみ
 又みるやまや、いちき、かみ
 又みるやまや、ちやくま、かみ
 又いちへ、きり、やり、
 かね、むかこ、さしよむちへ
 又いちへ、きり、やり
 かねみさき、さしよむちへ
 又かねむか、こひもまつと、さけて
 又かね、みさき、なり、まつと、さけて

(七三) あおりやへがふじ

一大きみが、うざしゑよ
 おもかこの、せぢ、おろちへ、
 あんじおそいよ、まぶら
 て、おれむちへ

又せたかこが、うざしゑよ
 おもかこの、せぢ、おろちへ
 又てるかえが、うざしゑよ、
 てらちんの、せぢ、おろちへ
 又てるしのが、うざしゑよ、
 てらちんの、せぢ、おろちへ
 又あまみや、きみとへや、
 てらちんの、せぢおろちへ
 又けおの、きみとへや、
 てらちんの、せぢ、おろちへ
 又おもかこの、のろく、
 てらちんの、せぢおろちへ
 又かぐらうちよ、ありよる、
 こがね、うちよ、ありよる、
 かみが、いのち、

あんじおそいよ、みおやせ
又おぼつ、うちよ、ありよる、
なむぢや、うちよ、ありよる、
かみが、いのち、
あちおそいよ、

(七四) あおりやへがふじ

一さまかさ、くよなおちへ、
かなふくよ、おれむちへ、
なさいきよよ、
みやかの、もり、みおやせ
又きみの、あぢの、くよ、なおちへ、
かなふくよ、おれむちへ
又ぐしかむの、もりよ、
くよ、なおちへ、おれむちへ

又かなふくのもりよ

(七五) あおりやへがふじ

一きこへ、あおりやへが、
たけ、みつぎ、しまの、
つぢ、ちよむれ
又こよむあおりやへが、
たけ、みつぎ、ままの、
又くめの中ぐすくたけ
又こよむ中ぐまぐたけ
又けさえ、かみぎや、たけ、
たけ、みつぎ、しまの
又けさえ、のろが、たけ
又かみ、むかて、こうて
又のろ、むかて、こうて

(七六) うらおそいふし

一 せのきみが、おれたち、
きみよしが、おれたち、
もゝご、ひやし、

うちあがる、なさいきよ

又あが、なさいきよ、なげくな、

せのきみま、えりよむめ

又てだ、なさいきよ、なげくな

又あんじおそいが、せいやりよむを、

せのきみや、けやりよむを

(七七) のちあがりかふし

一 せんきみが、
きみよしが、

世がほう、

なさいきよ

又あが、なさいきよ、

てだなさいきよ

又あまみ、たまちな、

おるむし

又いと、ぬきやり、

なむ、ぬきやり

又おてづから

みてづから

又ごりよむやり、

うちよむやり

(七八) あおりやへがふし

一 ちまざりよ、あつる、

つしやこの、まかね、

たまよ、そろゑて、みおやせ

又きこゑあんじおそいぎや

又とよむあぢおそいが

(七九) うちいてむくめの大おそいがふし

一あまみや、そよめきや、

みかなし、むかいきよ、

もゝまゑ、ちよむれ

又まねりや、そよめきや、

みかなし、むかいきよ

又中ぐすくちよむる

みかなし、むかいきよ

又ままおそい、ちよむる、

みかなし、むかいきよ

(一)モ、萬々
世まで長久
祝に御座有と
祝ひていふ
事

又あんじおそいが、おもいぐむ、
みかなし、むかいきよ

(八〇) たまぐすくもりぐすくのふし

一こいしのが、さしふ、そのをらよ、

ままでん、くまでん、みおやせ

又こいしのが、むつき

又まらげ、おゑて、きよらげ、おゑて、からと

又ま(二)まが、いのち、くまが、いのち、みおやせ

又いしが、いのち、かねが、いのち

又かさら、いのち、てもち、いのち、みおやせ

(八一) あおりやへがふし

一まけかけの、のろの、

ぎまもりよ、おれて、

校訂おもしろさうし

こがねをゑ、

あんじおそいよ、みおやせ

又くよのねののろの

(八二) みるやまがふし

一玄のくりやと、世なれがみ、やれと、

やれ、このゑ

又玄のくりやが、やまと、たび、のぼて、

やれ、このゑ

又かみよしやが、やしろ、たび、のぼて、

やれ、このゑ

又やまと、たびなおかいが、のぼて

やしろ、たび、なおかいが、のぼて

又あおしや、てうだまかいが

又ふくしや、てうつしやかいが

(八三) もゝこふみあがりかふし

一おぎやか、まちよくもい、

おこのみの、たかさ、

ぐしかば、^(二) ぐくさうせ、げらへて

又またみまちよくもい

又きこへあんじおそい

又とよむあぢおそい

(八四) なかふし

一ゑんこ、とよたしゆよ、

あんじおそい、てだの、

このみ、よむる、かまへ、つむ

せん、^(三) よせ、げらへ

又世かる、とよたしゆよ

校訂おもろさうし
又いしけ、なえ、おきて
又おみや、みやつちへ
おみや、みやさきよ

(八五) ながふじ

一 ゑんこ、とよたしゆよ、
世かる、とよたしゆよ、
あんじおそい、てだご、
又きこへあぢおそいや
ごよむあぢおそいや
又ことまの、あんじや
アキニ
ことくよの、あんじや
又みちへど、うらやみよる
きちへど、うらやみよる

(八六) もうらのごゝかみがふじ

一 およの、きみとゑや、
やほう、ひちへ、まちよめ
又おそい、きみとゑや
又せたかこが、まへよ
又げらへこが、まへよ
又いつかてゝ、いちへ、やほう、ひちへ
又とやくてゝ、いちへ、やほう
又おきて、やりよと

(八七) あおりやへがふじ

一 おぎやか、あんじとへや、
でん、おぎも、とやせ
又とたみ、いくさこうよ

又きむたか、おもい
又まおそいの、おもい
又きやかた、みやれを

(八八) あおりやへがふし

一まもの、おきて、ねとて、
月のかせ、なつのやま、
あまへる、きよらや
又もの、いましや、ねとて
又くめの中ぐすく、月のかせ
又とよむ中ぐすく
又ふよ、なつむ、まらせ
又なつ、ふよむ、まらせ
又ふよむ、御ざけもる
又なつと、まげちもる

(一)モ、神酒

又あんじ、からる、かよ、ある
又てだ、からる、かよ、ある

(八九) もゝごふみあがりかふし

一まもの、おきて、ねとらちへ、
ぐしかせの、またま、
あんじ、からど、とよむ
又もの、いましや、ねとらちへ
又きこゑあんじおそいが
又とよむあちおそいが

(九〇) うらおそいおもろのふし

一みやこ、こいつか、
ません。ほこり、まよむちへ、
御さけや、ゑよてど、たちよる

校訂おしろさうし
又やゑま、こいつ、せの

(九一) あおりやへがふし

(一)モ、父親
之事

一 きこゑ^{ア、ハ}あおりやへが、
みやかの、ひやし^ア
なさいきよもいよみおやせ^(三)
又とよむあおりやへが
又ぐしかむのもりよ
又かなふく^クのもりよ

(九二) うらおそいふし

一 こいしのが、ちへねんもり、おれむちへ、
きみつかい
又ぐしかむよ、きみほこり、げらへて
又かなふくよ、きみほこり、げらへて

又あちおそいが、きみ、ほこり、げらへて

(九三) かねぐすくのろのふし

一 こいしのが、くよ、いけくし

くまからうらおそいふし(くまがらは、こいよ、りの義紛れ)

又まつれ、くよつれ、み物
又まちらすが、くよいけくし
又よなむるの、くよいけくし
又とよ^{ア、ハ}ろ^{ア、ハ}きの、くよいけくし
又五たけの、くにいけくし
又七たけの、くにいけくし
又めづらしや、あくよいけくし
又さうさしや、あくよいけくし

校訂おもしろさうし

(九四) うちいてまかねぐすくのろのふじ

一こいしのが、くま、いけくし
もりぐすくおれほしや

又まちらすのくま

又よなむるのくま

又ごろきのくまいけくし

又五たけのくまいけくし

又七たけのくまいけくし

又めづらしやゐくまいけくし

又さうさしやりゐくまいけくし

(九五) うちいてまごまりみちへろきよがふじ

一こまかの、みおま、おれ、みもん

又くたかの、みおま

(一) 海の事

(二) 樽取之事

二十一の五二

又ざん、あみ、むまび、おろちへ

又かめ、あみ、むまび、おろちへ

又ざんひやく、こめて

又かめひやく、こめて

又ざんひやく、とりやり

又かめひやく、とりやり

又おき、なます、せとど

又へた、なます、せとど

又てかちゑらで、のせて

又おきえいたての、いそいて

又ひせえいたてのいそいて

(九六)

一くめの、こいしのが、やれけ

又もゝうらこいしのが

(一)モ、朝無
風之事
(二)モ、夕無
風之事
(三)モ、船之
異名ニ

校訂おもしろさうし

又(一)あさがこれがまよれを
又(二)ようどれがまよれを
又(三)いたきよらとおしうけて
又たなきよらとおしうけて
又ふなこゑらで、のせて

いろくのあまひおもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

第十二

(一) おもろこのむらがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

おれて、あまび、よむれを、

のちあがりまよ、

世也、ちよむれ

又とよむせだかこが

又まよりもりぐまぐ

あんじの世かけくよ

又まだまもりぐまぐ

(二)

一きこゑ大ぎみぎや、

みやかの、ひやし、

うちあがる、ひやし

校訂おもしろさうし

又ごよむせだかこが
又亥よりまたいらよ
又ぐをくまたいらよ

(三) おしかけがふし

一きこゑ大きみぎや、

おれて、いのり、よむれを、

嶋が命、

おぎやかもいよ、みおやせ

又ごよむせだかこが

又(二)いせゑけりあんどおそい、

世のつぼよ、ごりよむちへ

又むかいきよもい、あぢおそい、

世のつくせ、ごりよむちへ

又ミ物うちの、まみやよ、

(一)モ、ほめ
たる言葉器
量よきとい
ふ事こ

くよめづら、あふらちへ

又あんどおそいが、ゑりまゆ、

つかいてよ、ごよで

又かくらより、かゑて、

もちよろなちへ、ごよま

又おぼつおむちへ、やちよも、

むちよるなちへ、ごよま

又きみくも、ほこて、

てるかとも、ほこて

(四) よきけらいがふし

一大きみ、くよおそい、きみの、

世がほう、まがほう、みおやせ

又せだかこ、くよおそい、きみの

又かみまもの、くよかぞの、かほう

又ちとなれの、國かぞの、かほう

(五)

一大きみ、くよおそい、おれむちへ

いぐまちへ、こやせ、やちよこ

又せだかこ、國おそい、おれむちへ

又白かね、あか、がね、やりちよ

又おしあけて、つきあけて

又たけなか、もりなか、おれむちへ

又あへらちへ、よまらちへ

(六) あふりやへがふし

一きこゑ大きみぎや、

あけの、みあおり、もちろちへ、

けれど、だよ、島うち、みあおり

又ごよむせだかこが

又去よりもりぐまぐ

又まだまもりぐまぐ

(七) あふりやへがふし

一きこゑ大きみぎや、

けよのうちと、おしあけて、

おぎやかもいゑよ、

てるかたが、

てりよ^アる、やよ、ちよむれ

又ごよむせだかこが、

もちろうちと、つきあけて

又ごしか三年いきよて

又ごしか四年いきよて

又いけな、きみ、おろちへ

又なりきよ、きみ、おろちへ

又きこゑ大ぎみぎや、

包^{ア、ホ}まへ包ちへからい

(八) いごかぞおもろのふし

一大ぎみぎや、み御まへ、

ともゝその、あそび、

ごよまちへ、きみくつかい

又きみくのみ御まへ

又きやの、うち、あやみやよ

又ぐまにくせみやよ

又あんじおそいがみ御まへ

又おぎやかもいがみ御まへ

又けよのよかるひよ

又けよのきやかるひよ

又てよの、てだ、たかべて

(九) てがね丸がふし

一きこゑ大ぎみぎや、

あまみやまへ、おれとちへ、

世がほう、せぢ、

おぎやかもいよ、みやおせ

又ごよむせだかこか、

又だきより、(内^アの)、まつるぎ、

おぎやかもいしゆ^{ウ、ス、ミ、ニ、チ、ホ、ク}、さしよとめ

(一〇) あふりやへがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

まよりもり、おれとちへ、

くよく、おそう、

大そい、たゝみ

又とよむせだかこが、

まだまもりおれむちへ

又おしかけと、そへたて、

み^アみよちよのと、まへたて

又さらめきと、そへたて、

よせとのと、まへたて

(一三) たいらのこのがふし

一首里大きみぎや、まぶら

とよむ、くよおそいが、まぶら、

なさいきよもいよ、

世かけ、せるむみおやせ

又^ス^ルよりもり、まぶら、

まだまもり、まぶら

又きこゑあぢおそいよ、まぶら、

とよむあんじおそいよ、まぶら

又世、そむりと、げらへて、まぶら

つみつけと、げらへて、まぶら

(一二) たくしたうなつけがふし

一^スよりおむる、てだこが、

おもいぐむの、あむび、

と物あむび、

なよれとの、みもん

又ぐむくおむるてだこが

又むしの、とね、さしよむちへ

(一三) てかね丸がふし

一あがる、もちづきや、

さしふ、よなれ、

きみくぎや、いのち、

おぎやかもいよ、みおやせ

又きみの、もちづきや、

さしふ、よつき、きみ

又あまみや、きみやれを、

屯へのきみ、やれを

又玄よりもり、おれむちへ、

まだまもり、おれむちへ

又あが、まぶる、あんどおそい、

あが、かいなであちおそい

又おれらかぞ、みまぶら、

あまを、かぞ、みまぶら

又あがるもちづきや、

てだご、よきやて

(一四) あふりやへがふじ

一きこゑせんきみぎや、

玄よりもり、おれむちへ、

おぎやかもいよ、

金まへみおやせ

又ごよむきみ、ごよみぎや

又てるかそが、てるししのが、もちなし

又さしふ、五ころよ、

おれなふちへからの

又さしふ、七ころよ、

おれふさてからそ

又きみしゆ、まぶら、よむれ、

ぬし玄ゆ、まぶら、よむれ

又けさよりや、まさり、

(一)モ、美稱
の言葉末は
子々孫々の
御事

(二)の、神人
の事

校訂おもしろさうし
むかよりや、まさり

(一五) ぐまくまの大やよしの大やがふし

一つるこ、よくけしや、

よかる、よくけしや、

玉つむぎやの、内、みちやる

又おひ人よ、ごへ^{ア、}見、

人のおやよ、ごへと

又けさよりや、まさり、

むかよりや、まさり

(一六) きこへあふりやへや十すへ八すへぎやめがふし

一きこゑ、おしかけが、

まよりもり、おれ見ちへ、

きみつばよ、

おぎやかもいよ、みおやせ

又きみの、よせごのが、

まだまもりおれ見ちへ

又さしふ五ころよ、

おれなふちへ、からと、

又さしふ七ころよ、

おれふさて、からと

(一七) きみがなしのふし

一あめく、よりおそい、のろの、

かけて、かけふさい、まよ見れ

又あめく、よしみちへ、のろの

(一八) あふりやへがふし

一あめくよやが、おもろ、

校訂おもしろさうし

げらへ、あや、つゞみ、

うちちへ、なりあがらせ

又あめくアだししが、せるむ

(一九) きみがなしがふし

一あめく、まひ、やりよもひ、

こねり、なよる、かなしけさ

又いちき、まひやりよもひ

(二〇) きみがなしがふし

一ゑその、いくさもひひ

月のかせ、あまび、たち、

どもと、見かてだ、とやせ

又いちき、いくさめい

又なつと、まげち、もる

十五の四

十五の一九

(二一)モ、御酒

十五の三四
廿二の四

又ふゆと、御さけ、もる

(二二) よきげらへがふし

一よきげらへ、よきの、めづらしや、

世がほう、まがほう、みおやせ

又きみげらへきみのめづらしや

二つみあがりぎや、そへつきぎや、下よ

(二三) よきげらへがふし

一よきげらへ、けよの、うちの、あやより、

いぐまちへ、もちるちへ、あまび、よ見

又きみげらへ、もちる内の、くせより

(二四) (あおりやへがふし)

一きこゑお世もりや、

十五の三八

十五の三五

(一)モ、太刀

校訂おもしろさうし

あぢの、つぢ、あんじおそい、
つくしちやら、

玉の、きみつかい
又ごよむお世もりや

(二四) あふりやへがふし

一 亥より、まだまもり、
せだかあんじおそいや、
きみよせ、きらくせ、さもん
又きみのもちつきや、
せだかあんじおそい

(二五) あふりやへがふし

一 たけの、まつなりや、
かほう、そろゑおちへ、

五の一五

(一)モ、母親
の事

(二)モ、父親
之事

十五の一

あが、なさいきよ、
のちまさり、てづら
又きみのもちづきや

(二六) たいらのごのふし

一 きこゑきみ、ごよみ、
せだかきみ、ごよみ、
うちちへ、みものきみ
又きたたんの、みやよ、
あがなさの、みやよ
又たまよせが、まへよ、
よりたちが、まへよ
又もくちの、つみみ、
八そくちの、なりよぶ

校訂おもろさうじ

(二七) きこへあらはへがふじ

一もゝご、ふみあがりや、
 きみの、ふみ、あがりや、
 あをぶ、きよらや
 又まもの、世のぬしの、
 おもいぐ世の、きみの
 又がぢやの、うらかみや、
 よきな世、ねとて
 又しま中、かみや、
 まちらを、ねとて
 又こくらの、かみの、
 こゝせの、かみの
 又あやて、まめかふな、
 よりて、まめかふな

(二八) きこゑおしかけがふじ

きこゑあおりやへや、
 十をへ、八をへ、ぎやめも、
 おぎやかもいよ、
 みまぶてを、おれ世め
 又ごよむあおりやいや
 又まよりもりぐをく
 又まだまもりぐをく

(二九) 中城おもろのふじ

一きこゑあおりやいや、
 だまを、ごよみ、よ世れ、
 もゝをへ、ごよむ、あんじおそい
 又ごよむあふりやいや

又きこゑあんにおそいや
又ごよむあんにおそいや

(三〇) きこへたうやまがふし

一きこゑあおりやいや、
あそひや、から、みよれど、
ま、そでて、ごよみよる、
あんにおそい

又ごよむあおりやいや
又まよりもりぐそく
又まだまもりぐそく

(三一) あおりやへがふし

一きこゑあおりやいや、
ほしの、かた、もちろちへ、

けおの、うちの、

よりなおり、みもん

又ごよむあおりやいや

又まよりもりぐそく

又まだまもりぐそく

(三二) あおりやへがふし

一きこゑあおりやいや、

ごもへ、みまかり、かけむちへ、

かぐらの、けおのうちに、かよある

又ごよむあおりやへや

(三三) あおりやへがふし

一きこゑあおりやいや、

たまの、みあおり、よらしゆと、

あけの、みあおり、

あおりやいと、まなて、

又とよむあおりやいや

又まよりもりぐまぐ

又まだまもりぐまぐ

(三四) あがるいつかさくがふし

一きこゑあおりやいや、

とよむあおりやいや、

嶋内、あおりやい、やちよ

又あんじや、あぢおそい、やちよ、

くよや、まよりおやぐよ

又あんじや、さど、ゑらぶ

さどや、あんじゑらぶ

(三五) あふりやへがふし

一きこゑあおりやい、

おれて、あまび、よむれと、

ひやし、うちちへ、

きみよ、ふれよむせ

又とよむあおりやへや、

玉なるし、ごりよむちへ

(三六) あふりやへがふし

一きこゑあおりやへや、

なかへ、やほう、あうらちへ、

まらなみや、かなぐり、おそ、やよ

又とよむあおりやゑや

又きみくらが、ふきまなが、またよ

(三七) あおりやへがふじ

一 きこゑあおりやゑや、
玉のどり、こがねどり、あまむちへ、
くもこ、みしやの、としらへまゆ、みもん
又 ごとよむあおりやへや

(三八) きみがなしのふじ

一 志より、みもんきみ、よりなちへ、
おぎやかもいよ、みおやせ
又 ぐまぐみもんきみ
又 なさいきや、み物きみ

(三九) あふりやへがふじ

一 おもいきみ、金ぢやう、よと志よじ、

なさへきよが、いきよいちよ、まちよる
又 げらへきみ、金ぢやう、よと志ゆじ
又 もゝそひちへ、金ぢやう、よと志よじの
又 なゝそひちへ、金ぢやう、よとしゆい

(四〇) いごかぢおもろのふじ

一 きこゑせんきみが、
志よりもり、きよらや、
かぐらの、けおの内る、かよある
又 ごとよむせんきみが、
まだまもり、きよらや

(四一) 中城おもろのふじ

一 つくしたま、みたま
しまかねる、みたま、

こくらの、てもち、

もちちへ、みおやせ

又つくし、おそい、みたま

(四二) 大きみがみ御まへごもゝそのあそびがふし

一いごかたが、おもろ、

けさよりや、まさり、

世、たまの、ごゝまりぐすく

又いごかたがせるむ

尙元王御代(尙元は尙清の誤)

嘉靖廿四年己巳の年きみてまりのもゝかほうことの時よ八月十九日つちのこの酉日のとらの時よきこゑ大きみの御まへより給申候

(四三) おしかけがふし

一きこゑ大きみぎや、

まへ、ゑらびやり、おれちちへ、

あんじおそいしゆ、

きみぎや、せち、もごよ^アじれ

又ごよむせたかこが、

ませかねて、おれちちへ

又いけな、きみ、そろへて、

なりきよ、かみ、あごへて

又ごし八ごせ、なるぎやめ、

おぼつたけ、おきやつめ

又ゑか八ごせ、なるぎやめ、

かぐらたけ、おき(や)つめ

又あんじおそいが、おごご、

きみてづり、まどさ
 又 見うよせが、おこと、
 みもの、あまび、まどさ
 又 大ころた、そろて、
 もちやへこた、あどへて
 又 きみ、いきよい、このめ、
 めしつかい、このめ
 又 つかい、て、よしられ、
 おこと、て、よしられ
 又 あかぐちやが、よいつき、
 おぼつたけ、とよて
 又 あんじおそいが、おこと、
 大きみよ、してなて

尙元王御代(同上)

嘉靖廿四年己巳のとしきみてづりのも、かほうことの時よ
 八月廿五日きのこのうのへうまの時よきこゑ大きみの御ま
 へよりたまえり申候

(四四) かくらごよでがふし

一 きこゑ大きみぎや、
 とよむ、せたかこが、
 さしふ、おれなおちへ
 又 おぼつゑか、とりよえちへ、
 だしま、きらなおちへ
 又 かぐらゑか、とりよえちへ、
 だきより、きらなおちへ
 又 あんじおそいが、おこと、
 見うよせが、おこと
 又 大きみと、のだて、

きみくも、のだて、

又あまこあむちへ、おがま、

みかおう、あむちへ、てづら

又あかぐちやが、よいつこ、

せらちへんよ、とよで

又げらへ、おほこゝた、

あんじおそいよ、よしられ

又きみくも、ほこて、

ぬしくも、ほこて

(四五) きこゑきみこよみがふし

一たいらの、どの、なよら、

ぐまくの、あぢの、こねら、

ゑ、け、まま、よせ、せるむ

又まよりのみやよ、なよら

ぐまくの、みやよ、こねら

又あんじや、あぢど、なよら、

げまむ、げまど、こねら

(四六) たいらのこのがふし

一たいら、こしらへが、

おせやもりの、こしらへが、

おせややと、おせやかみた

又あさどれがまよれど、おせや

ようどれがまよれど、おせや

(四七)

一たゝら、おしかけや、

まどきや、めづらしや、

たり、きよらま、きよとれ

又おしかけ、やれと、

めづらしや、やれと

又ともから、ほいまで、

おしかけ、まなて

(四八)

一 丑くの、まつらへや、

丑くの、みせりきよ、

つかいど、きちよる

又やまち、いちやぢやよ、

やまち、かなぢやよ

又まどきやも、つくて、

かめんこ、つくて

又つかい、ありてと、

いちやぢり、ありてと

(四九)

一 だうの、大や、きこへが、

まみや、あまをま、きよらや

又いしけなと、きこへが

又なりきよ、おろちへ、きこへが

又いけなおろちへ、きよら

(五〇) おやみかまがふし

一 くの、こいしのが、

もゝうら、こいしのが、

きよらや、みもん、あまび

又いしよもいと、ねとらちへ、

ひかのしと、ねとらちへ

又まよりもりぐま

校訂おもしろさうし

まだまもりぐま

(五一)

一きみよしぎや、やちよこ、

せたかこが、やちよこ、

うちあがて、さやせ、やちよこ

又あらかきの、みやよ、

あらかきのふこよ

又もくちの、つみ、

八そくちの、なりきよ

(五二)

一くめの、大おそが、みもん

又あけいご、みもん

又くめのせたかこが、みもん

又あけいご、みもん

又くめのあんじおそいが、みもん

又あけいご、みもん

(五三)

一あらぐま、あけまきよ、

あらぐま、あけふたよ、

又けこのよら、あけまきよ、

やあれよら、あけふたよ

又きみ、あつ、あけ物よ、

ぬしが、あつ、あけものよ

又きみよ、つかゑ、あけられて

ぬし又、つかゑ、あけられて

(五四)

一あまごんの、くせらへや、
おそつちへ、ゑけ、とよあア、ま
又なからまや、ひやごんしが
又えねさしやが、くせさしやり

(五五)

一きこゑきみがなし、
ままおそてちよえれ
又とよむきみがなし

(五六) たいらのごのふじ

一くめの、よせ、きみぎや、
まよりもり、おれむちへ、
きみぎや、せぢ、
おぎやかもいよ、みおやせ

又せだか、よせ、きみぎや、
まだまもり、おれむちへ

(五七) 中城おもろのふじ

一せだか、おむもり、きみの、あやつちへ、
むかいきよよ、みおやせ
又きみのおむもり、きみの
又さしふの、よつかん時よ
又さしふの、よなれん時よ

(五八)

一おやみかま、ねごらちへ、
きみてつり、まご、ないふう、
よせる、よりきよら、おうね
又まよりもりぐまぐ

(五九) うらおそいおもろのふし

一せんきみが、おれたち、
 きみよしが、おれたち、
 もゝご、ひやし、
 うちあがる、なさいきよ
 又あがなさいきよ、なげくな、
 せんきみまゆ、まりよむめ
 又大みや、もゝしまよ、
 せんどうち、八そしまよ

(六〇) うらおそいおもろのふし

一せんきみが、きみよしが、
 世がほう、なさいきよ
 又あが、なさいきよ、てだなさいきよ

又あまみ、たまら、なうるむし
 又いとぬきやり、なむぬきやり
 又みてづから、おてづから
 又どりよむやり、まきよむやり

(六一) おしかけがふし

一きこゑ大きみぎや、
 てるかえよ、してなて、
 きらのかせ、
 あちおそいま、てづれ
 又よむせだかこが、
 てるしのも、まなて
 又としみとせ、なるぎやめ、
 ごこゑ、まどうさ
 又ゑか四とせ、なるぎやめ、

校訂おしろさうし

ゑりぢよ、まどうさ

又おぼつゑか、とりよむちへ、

いけなきみ、よりおろちへ

又かぐらゑか、とりよむちへ

なりきよきみ、つきおろちへ、

又まよりのろ、さきだて、

なよかさよ、さきだて

又まかび、のろ、さきだて

みちへりきよ、さきだて

又きぼのろよ、さきだて、

とよましよ、さきだて、

又やりおそいよ、さきだて、

おやのろよ、さきだて

又あぢおそいよ、さきだて、

たゝみきよと、よほたて

(六二) あおりやへがふし

一きこゑせんきみが、

おれて、ふれまへと、

をへながく、

世、そろへて、ちやうむれ

又とよむせんきみぎや

又あが、なさいきよ、あぢおそい、

ねいしの、天よ、おゑつく、ぎやめ

又てだ、なさいきよ、あぢおそい、

まいしの、あめよ、もいつく、ぎやめ

(六三)

一おんな、やき、しまよ、

あふそ、やき、まよ、

もゝど、世ま、ちやうど
又あさどれが、まよれを、
ようどれが、まよれを

(六四)

一中ひやまや、おせろ、あれよしやよ、
いみやど、おれて、なよる
又せど、ひやまや、おせろ

(六五) よきげらへがふし

一まま、せんこ、あけしのゝ、のろの、
もゝど、ひやし、うちあがる、なさいきよ
又なかひやまやの、せどひやまやの、おやのろ

(六六)

一きこゑおしかさが、

やちよく、たまえらせ、
むりいきよ、さしふ、おしかりて
又ごよむおしかさが

(六七) おしかけふし

一あめがなし、まころこ、
のちよかる、まころこ、
おしかさが、

まぶり、よせろ、たゝみ
又あんどおそいが、おもいぐせ、
のちよかる、おもひぐせ

(六八) うらそいふし

一せやろ、くよおそい、

校訂おもしろさうし

おゑさご、もり、おれむちへ、

もゝご、あがり、

ふみあがて、ちよむれ

又けある、くよおそい

又けよのよかるひよ

又けよのきやかかるひよ

又なおり世と、さだけて

又あまへ世と、まだけて

(六九) うらそいふし

一きこゑさをかさひ、

まぶる、きみやれを、

くもこいろよ、

てりあがて、ちやうむれ

又ごよむ大ぎみぎや、

かいなで、きみやれを

又まよりちよむれ、

いせゑけり、あちおそい

又まだまもりちよむる、

あが、かいなであちおそい

又あまみやから、あへちへ、きみやれを、

又まねりやから、つほこ、きみやれを

又てるかたが、おことま

てるしのが、おことま

(七〇) おしかけふし

一大ぎみぎや、まぶる、

げらへ、きよら、いちやちや、

もゝうら、おそう、

せぢ、たかもる

校訂おもしろさうし
 又せちか^{了た(本ニナシ)}かこがまぶる
 又おぼつ、ぎやめとよで
 又かぐら、ぎやめ、とよで
 又だしま、あるぎやめも、
 又せいくさ、よせるまじ
 又だくよ、あるぎやめも、
 又せひやく、よせるまじ
 又てるかえん、まぶれ、
 又てるしのま、まぶれ

(七一) おしかけがふし

一きこゑ大ぎみぎや、
 けおの、内の、のろく、
 あよそろて、
 かぐら、ひやし、みおやせ

又とよむせたかこが
 もちろうちののろく
 又あぢおそいが、いきよい、
 又たよりもりおれむちへ
 又たゝみきよが、いきよい、
 又だまもりおれむちへ
 又くもこ、みあおり、あおらちへ、
 又あけの、みあおり、あおらちへ
 又もゝくちの、つゞみ、
 又八そくちの、なりよぶ
 又あかぐちやが、よいつき、
 又せるまゝが、よいつき

(七二) おしかけふし

一きこゑ大ぎみぎや、

けおの、うちの、もちよろ、
 みしま、いので、
 あんじおそいよ、みおやせ
 又よむせたかこが、
 もちろ内の、もちよろ
 又大きみと、てづて、
 あけまどし、ならと
 又きみく^{ア、イ}、てづて、
 むかふどし、ならと
 又てるかはと、のたて、
 いしきよらと、あがなて
 又てるしのと、のたて、
 ふさちんとや、しなて、
 あぢおそいと、よきやて、
 あまこ、あまて、あぢちへ

(七三) あふりやへがふし

一亥より大きみが、
 さしふ、ゑらで、おれぢちへ、
 てる、てもち、
 あぢおそいよ、みおやせ
 又よむ、くよおそいが、
 ちへごめて、おれぢちへ
 又かぐらぎやめ、とよで、
 さしふ、ゑらで、おれぢちへ
 又おぼつぎやめ、とよで、
 ませと(めて)、おれぢちへ
 又きこゑ大きみと、
 とこへやり、かぢちへ
 又よむせたかこと、